

2. 交通量調査の実施

4

＜参考：過去の調査実施日＞

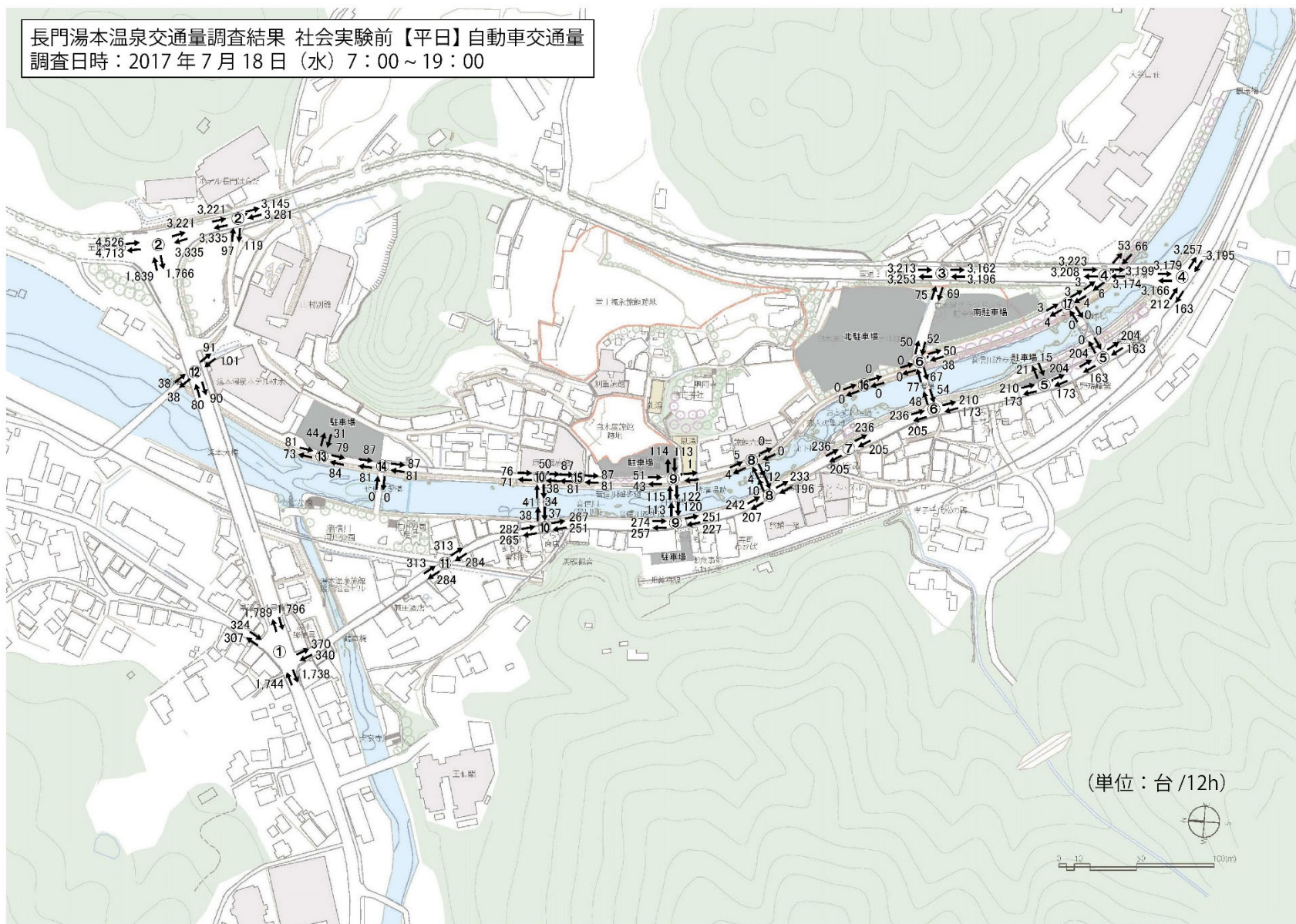
年度	調査日時	備考
2017年度	2017年7月19日（水） 7-19時	通常時 平日
	2017年7月23日（日） 7-19時	通常時 休日
	2017年9月18日（月祝） 7-19時	社会実驗中（一方通行） 休日
	2017年9月20日（水） 7-19時	社会実驗中（一方通行） 平日
	2017年10月4日（水） 7-19時	社会実驗中（対面通行） 平日
	2017年10月8日（日） 7-19時	社会実驗中（対面通行） 休日
2018年度	2018年9月15日（土） 7-21時	社会実驗中（狭窄部設置） 休日
	2018年9月16日（日） 7-21時	社会実驗中（狭窄部設置） 休日
	2018年9月17日（月祝） 7-21時	社会実驗中（狭窄部設置） 休日
	2018年9月18日（火） 7-21時	社会実驗中（狭窄部設置） 平日
	2018年9月19日（水） 7-21時	社会実驗中（狭窄部設置） 平日
2019年度	2019年8月18日（日） 7-19時	社会実驗中（狭窄部設置） 休日
	2019年8月19日（月） 7-19時	社会実驗中（狭窄部設置） 平日

5

2. 交通量調査の実施

6

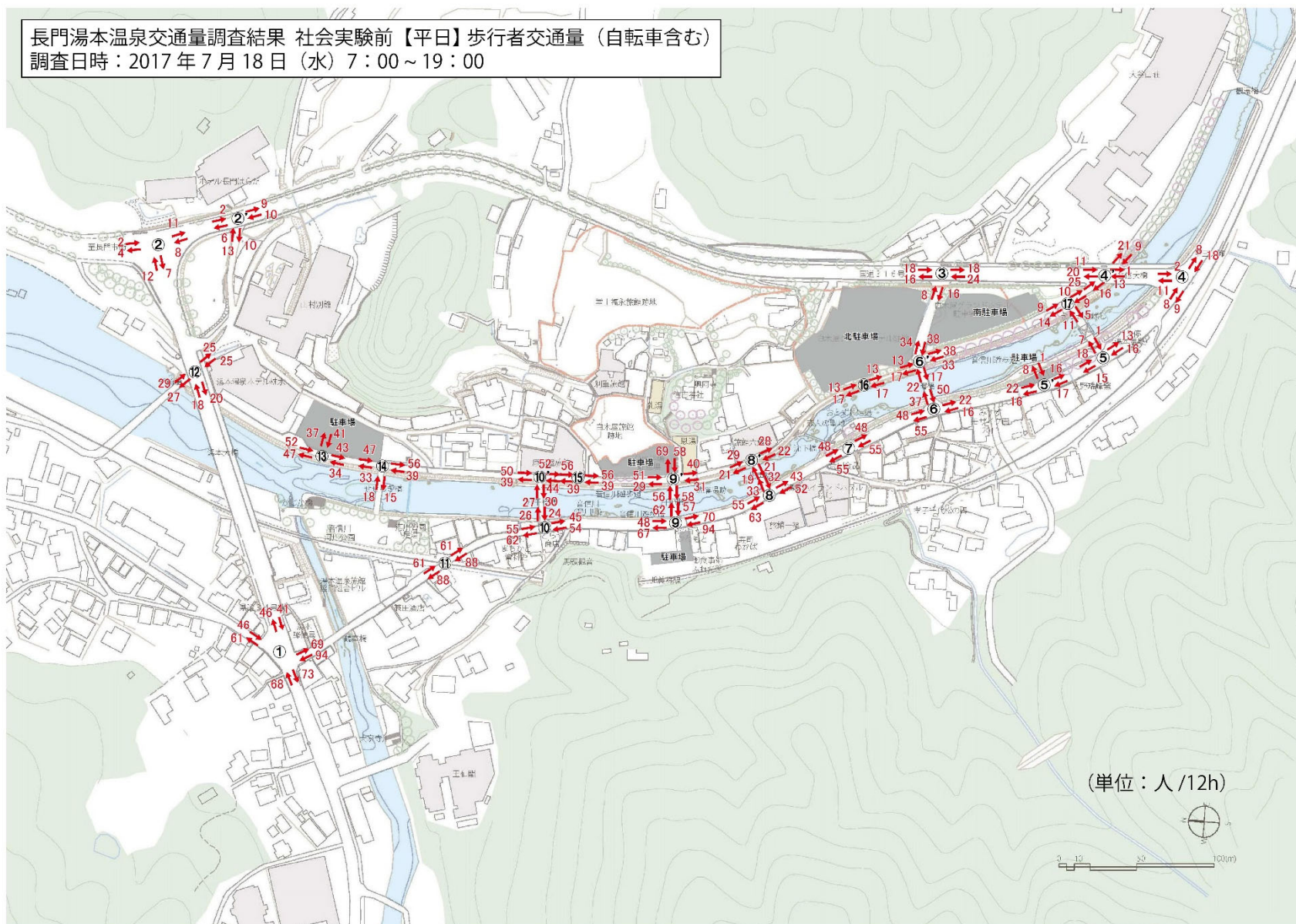
<参考：2017年度調査結果（自動車）>



2. 交通量調査の実施

7

<参考：2017年度調査結果（歩行者・自転車）>



3. 路上駐車対策の検討

8

人的
対応

対策の
強度

対策	課題	方向性
公共空間活用	沿道事業者による定常的 対応が必要	まずは一ノ瀬広場のブロック舗装が傷 まない対策を実施。 オソト活用協議会で一ノ瀬広場の定常 的な利活用の方向性について検討。
声かけ	できる人が限られる トラブルのリスクあり	オソト活用協議会でアイデアを出し合 い、路上駐車対策の必要性を理解して もらえる対応を検討。
張り紙	禁止事項を掲載すると感 じが悪くなる	夏の川遊び増加前に対策を具体化し、 実施体制を整備。
警察への通報	警察が常時対応可能とは 限らない	今後の動向を確認し、必要に応じて警 察に相談。
駐車監視員となって 取り締まる	講習を受け審査に合格す る必要がある	
表示物の設置 (駐車禁止、駐車場 案内等)	道路占用・使用の問題、 緊急時の撤去対応、歩行 空間の減少	曙橋付近に駐車場案内表示を設置。 (あけぼのカフェ来店者が多いことか ら星野リゾートにも協力を打診)
ベンチやプランター の設置	狭窄部以外での設置可否 の検討、維持管理の手間、 歩行空間の減少	狭窄部以外の区間において物理的対策 を実施するためのエビデンスが必要。 (ビデオ撮影による定点観測、路上駐 車の頻度や台数の把握、路上駐車する 人の属性など)
ボードの設置 (ソフトポール等)	景観上の問題、通過車両 の速度上昇の懸念	